

# 国立大学法人 総合研究大学院大学

---

## 分科会テーマ②

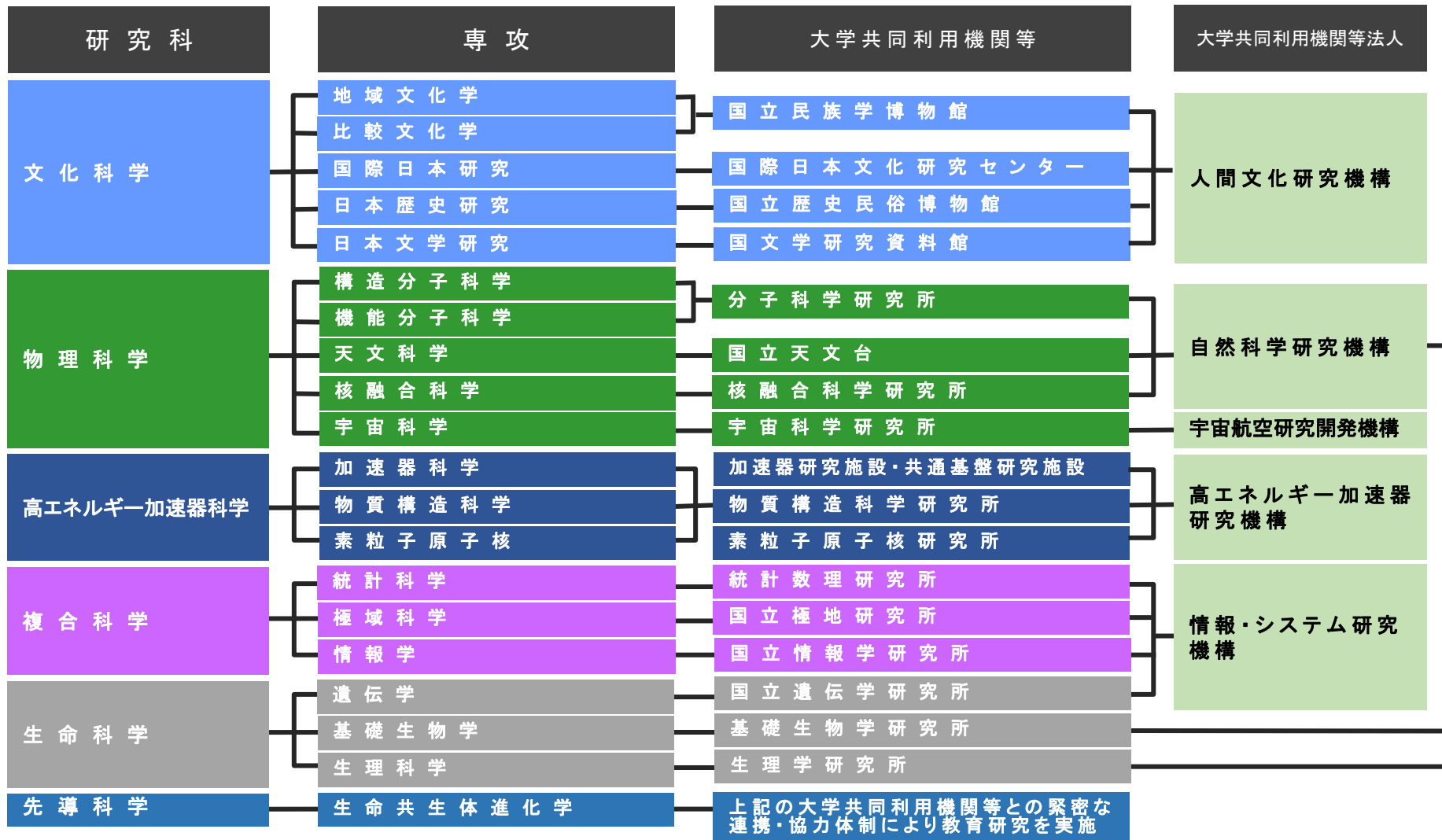
### オンリーワンを目指す大学の経営理念について

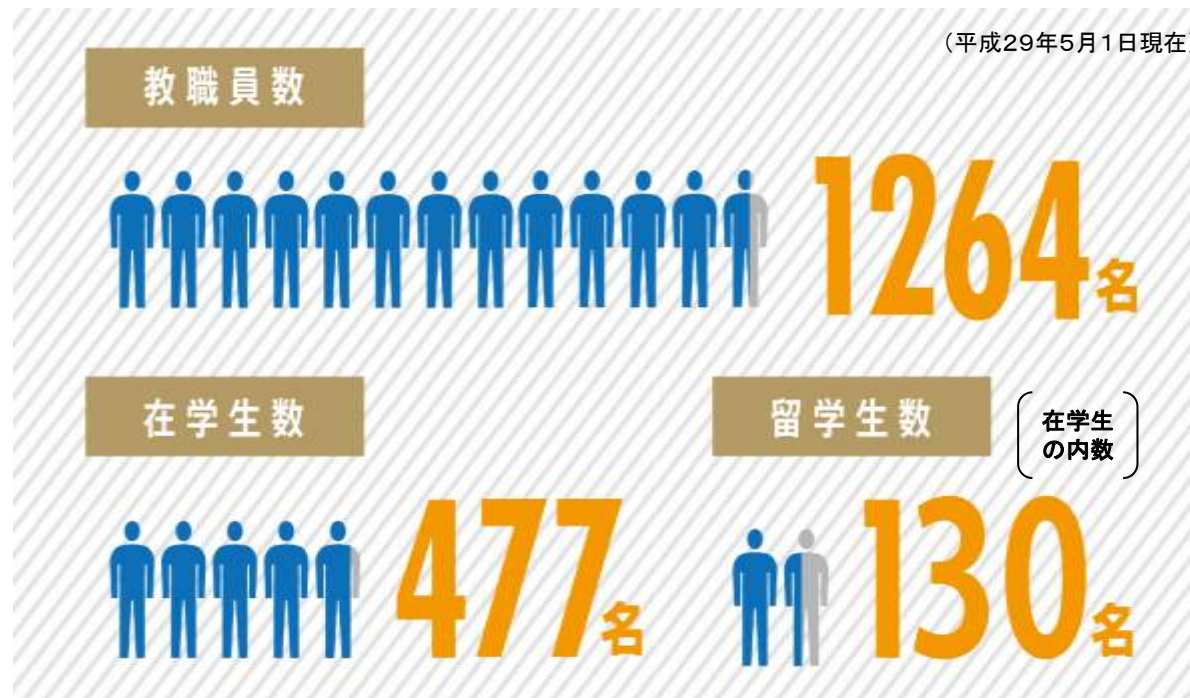
平成30年5月13日(日)  
国立大学法人 総合研究大学院大学  
学長 長谷川 真理子

- ・1988年、日本で最初の学部を持たない、博士課程のみの研究大学院大学として創設され、今年で30周年。
- ・機構等法人(大学共同利用機関法人、国立研究開発法人)に設置されている機関を基盤とする19の専攻と先導科学研究科・生命共生体進化学専攻とで構成。
- ・5年一貫制博士課程と3年博士後期課程を併設。
- ・教育目標は、「高い専門性」、「広い視野」、「国際的な通用性」



## 17の大学共同利用機関等を基盤に、6研究科20専攻を設置。





学生1名あたり

教員数は約2.7名

在学生の約27%が留学生

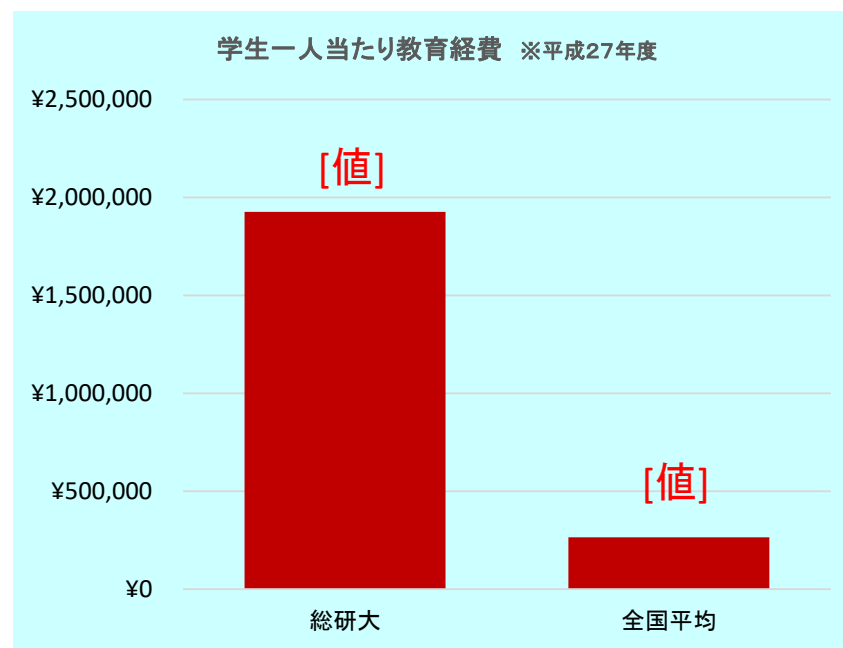
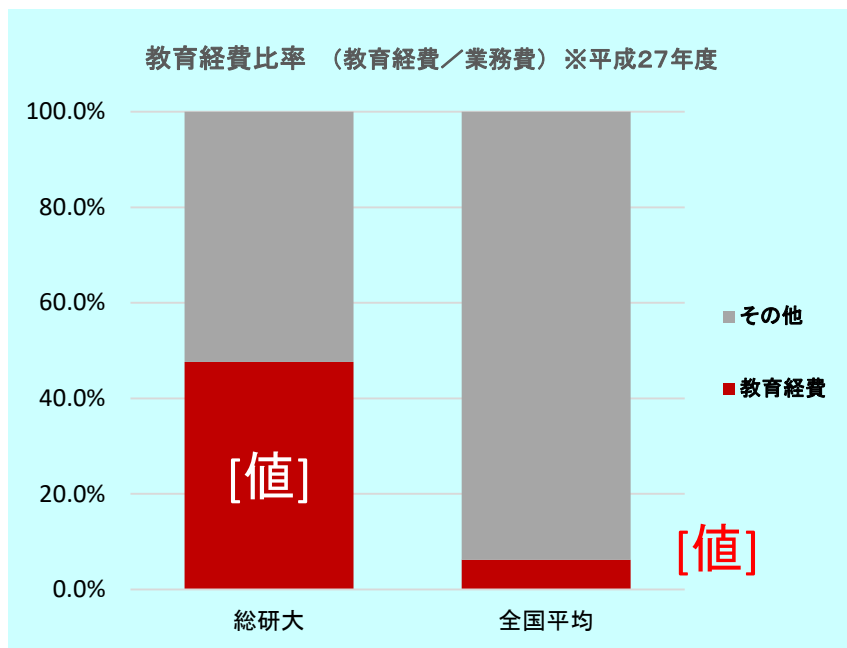
2015)

※大学院全国平均は約15%(総務省統計局 日本の統計

留学生のうち、中国国籍は36%(47名)

(出身大学:中国科学技術大学(9名)、北京大学(4名)、中国科学院大学(4名)、  
武漢大学(2名)、上海交通大学(2名)、中山大学(2名) 他)

全業務経費のうち、教育経費比率は約50%。  
学生一人あたりの教育経費は約200万円／年で、全国立大  
学(86法人)のトップ。



※教育経費には専攻運営費を含めている。



## 最先端研究環境をベースに独創的な研究者を育成し、新分野を開拓する大学院大学

### 総研大SOKENDAI

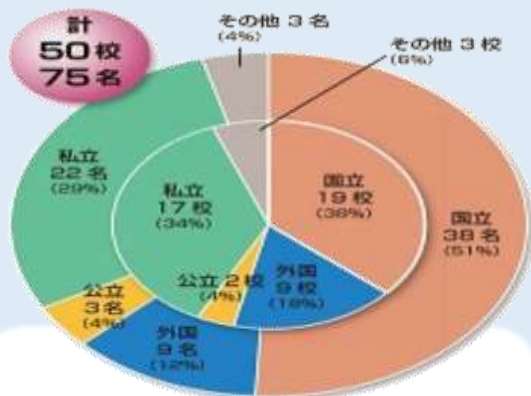
17の大学共同利用機関等を基盤機関とする複合・分散型の大学院大学

S O K E N D A I

基盤機関群による分散型の最先端研究環境



[平成28年度修了者進路状況]



[平成28年度入学者状況]

### カスタムメイド高度専門教育システム

### ビジョンの実現に向けた機能強化戦略

【戦略Ⅰ】最先端研究環境をベースに、基盤機関と連携し、時代が要請する独創的・国際的研究者を育成する

【戦略Ⅱ】世界トップレベル研究者間の異分野連携共同研究により、新しい研究分野を開拓する

【戦略Ⅲ】分散型キャンパスのもとで機能強化を実現するために組織・ガバナンス体制を改革する

■高い研究者人材育成率  
修了者の8割が博士号を取得し、6割強の修了者が大学・研究所等で研究職に。



■機能強化の目標  
研究者人材の育成に重点を置いて、より高いレベルで総研大ビジョンを達成。

### ■多様な人材受け入れ

国内外から、研究者を志向する多様な人材を受け入れ、高度な専門性と良好な教員1人あたり学生数比(<0.5)を有する教育環境を提供。

# 国際連携教育研究環境の創出

## 国際化環境整備

留学生支援の充実

留学国際的な検討・評価体制の構築

国際連携支援体制の強化・可視化

海外の教育研究者・海外経験豊富な有識者を経営協議会メンバー、学長アドバイザー等に任命

外国人留学生の増加

国際通用性向上

学内構成員の多様化

入学

## 国際教育プロジェクト

教育研究連携事業

海外学生派遣

海外学生・研究者招聘事業

海外インターンシップ

国際研究集会支援事業

特別海外学生派遣・受入制度

- 選抜された学生を海外大学・研究機関に長期派遣
- 優秀な外国人学生を長期受入

受入

派遣

修了学位取得

国際競争力強化

国際共同学位プログラム

体験入学  
受入インターンシップ  
アジア冬の学校

優秀な人材の獲得

総研大  
海外大学・研究機関  
教育ネットワーク

基盤機関・国内外の研究ネットワーク

修了生を基点とする  
海外ネットワーク

国際的な研究者の輩出

国際共著論文率増加





## ◆海外学生派遣・インターンシップ事業

- 基盤機関のもつ国際的研究センターとしての環境を活用し、本学の学生が国際共同研究活動に参加するための海外派遣を公募により支援

平成29年度: 19名(米国7名、ドイツ3名、英国2名、その他欧州4名、中国1名、マレーシア1名、ペルー1名)

## ◆UST(韓国)との連携

- 韓国の科学技術聯合大学院大学校(UST)との学術交流協定に基づき、総研大-UST合同セミナー開催等、総研大とUSTの学生・教職員が交流。



総研-UST  
合同セミナー  
(H27年度)

## ◆JSPSサマー・プログラム

- JSPSとの共催で、基盤機関や他大学の協力の下、欧米の若手研究者を夏期2か月受け入れ。

平成28年度: 米国65名、英国10名、フランス13名、ドイツ12名、カナダ10名、スウェーデン5名

- 欧米の若手研究者とのディスカッション等を含む「英語プレゼンテーション短期研修」を総研大生向けに開講。

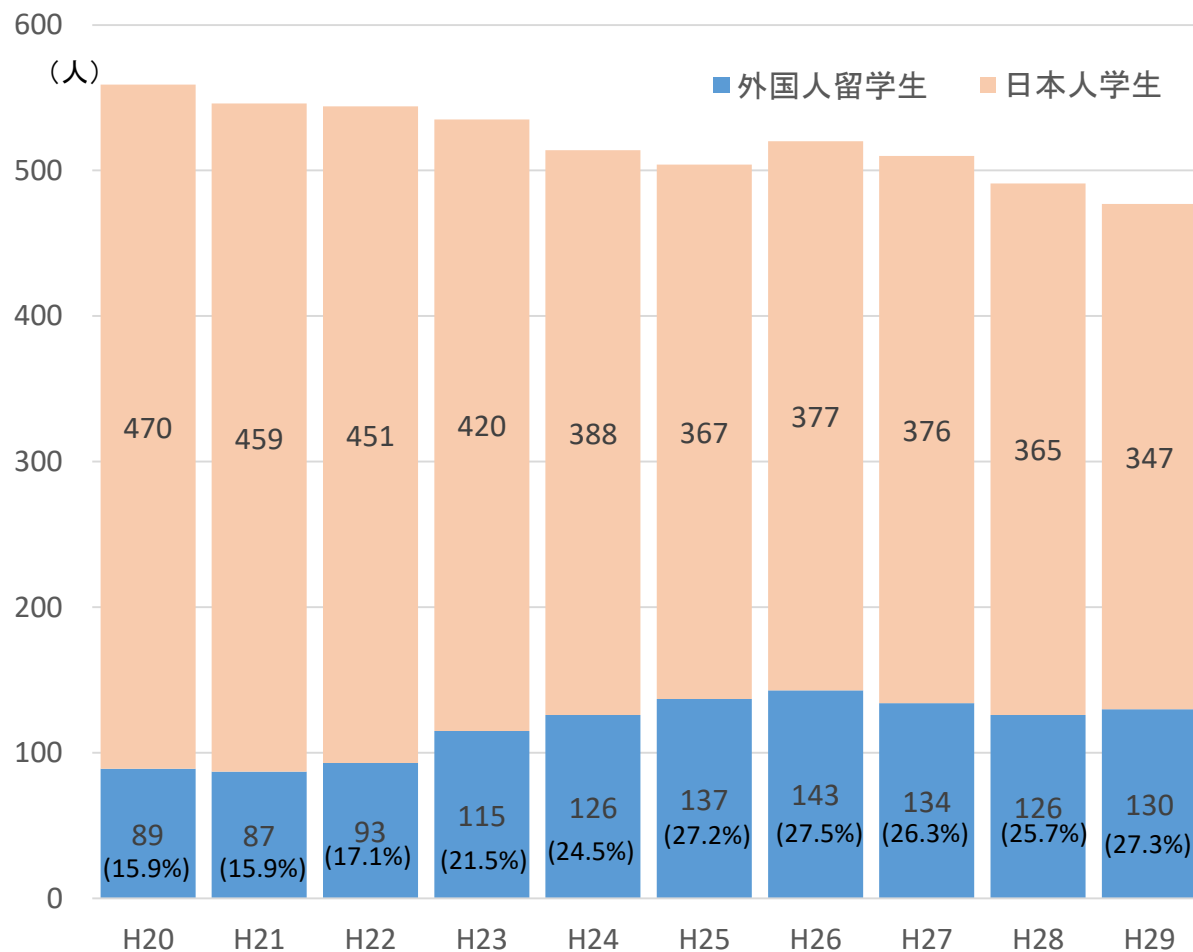


「英語プレゼンテーション短期研修」(ポスターセッション)



「JSPSサマー・プログラム」オリエンテーション開校式

## ◆学生数の推移(H18~H29)



## ◆外国人留学生数(H29)

	国名等	人数 (人)
1	中国	47
2	ベトナム	16
3	タイ	14
4	インド	10
5	インドネシア	9
6	台湾	5
7	パキスタン	4
8	韓国	3
8	フランス	3
8	米国	3
8	マレーシア	3
	その他	13
	合計	130

注) 国名等の「その他」は人数が2人以下の国。

## 小林 誠 (総合研究大学院大学名誉教授/高エネルギー加速器研究機構特別名誉教授)



2008年ノーベル物理学賞受賞  
(「CP対称性の破れの起源の発見」)

1999年4月～2004年3月:数物科学研究科教授

2004年4月～2006年3月:高エネルギー加速器科学研究科教授

2003年4月～2004年3月:数物科学研究科 素粒子原子核専攻長

2004年4月～2006年3月:高エネルギー加速器科学研究科

素粒子原子核専攻長

2008年

:文化勲章受章

## 大隅 良典 (総合研究大学院大学名誉教授/基礎生物学研究所名誉教授)



2016年ノーベル生理学・医学賞受賞  
(「オートファジーの仕組みの解明」)

1996年10月～2009年3月:生命科学研究科教授

2008年 4月～2009年3月:生命科学研究科長

2006年 :日本学士院賞受賞

2016年 :文化勲章受章

- 組織の存立目的を果たすために、組織のさまざまな構成要素やその機能を絶えず見直し、最適解を見つけようとするシステム科学、だと私は思います。
- 大学の「経営」とは何か？ 「知」の体系を維持、発展させ、次世代育成のための高等教育を行うことが大学の存立目的である。
- それを果たすための経営とは？

- 本学の存立目的は、一流の研究設備、一流の研究者集団をもとに、次世代研究者を養成すること。
- この存立目的を果たす最適解を求めて、基盤機関との連携のあり方を見直す。
- 日本における大学共同利用機関という枠を改訂・拡張し、国際的な学術共同利用機関、国際的な次世代研究者養成の枠組みを作ることを探る。。。という方向を考えています。



# 谢谢

ご静聴有り難うございました。